



題字 井口 文章
再刊 第237号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

1面：夏休みも錦城生大活躍！
錦城祭まであと2週間
2面：みやぎ総文に参加しました
震災から6年半、今の宮城

夏も大躍進の錦城生！

夏休みの部活特集

蒸し暑い日が続いた今年の夏休み。多くの部活や委員会が全国大会や都大会に出場し、それぞれ健闘した。夏休み中も勉強、部活ともに全力投球した錦城生、彼らに大会後の思いを聞いた。

全国大会！

新聞委員会
7月31日(月)から8月2日(水)、宮城県で開催された全国高等学校総合文化祭新聞部門に新聞委員会編集部が参加した。錦城高校新聞は優良賞を受賞した。

鉄道研究部
鉄道研究部は第9回全国高等学校鉄道模型コンテストに出場し、小名路踏切と高尾の風景という作品において全国大会初出場でモジュール部門のベストプレゼンテーション賞を受賞した。部長の谷崎季くん(2K)は受賞時の心境を「スクリーンに名前が出たときは目を疑いました。初出場にしては良い結果を残せたと思います」と語った。

会議が行われた。2日目には、それぞれ宮城県の被災・復興状況、郷土料理、メディアなどのコースに分かれて県内各地を取材し、3日目は各々が工夫しながら交流新聞を作成した。(二面・特集)



今回鉄研が制作したジオラマ

運動部！

野球部
7月22日(土)、第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会の第5回戦、佼成学園高校との試合が府中市民球場で行われた。

初回から苦しい立ち上がりだったが、5回裏と6回裏で計3点を返す錦城。粘ったものの8回表に10対3でワールド負けとなった。ピッチャーの藤田京之介くん(3C)は「準決勝に進出することができるといわずほっとまじ」と牧田さん。もし進出できなければ20年連続全国の伝統を壊してしまうため、今回は一安心の結果だったそう。また「部室で流したときと音の響きが変わるため、大



部員を励ます小筆主将

ゴミ分別改善せず

夏休み中、とある教室のゴミ箱を調べると、資源ごみの段ボールや燃やさないごみのビニール袋が可燃ごみに捨てられ、写真のように未だ分別はなっていない。またLED工事のためエレベーター内に貼られたプラグボールには引っ掛いたような落書きが一面にされていた。今一度自分の行動を見つめ直してほしい。

オーストラリアで一味違う夏を

「学んだのは英語だけじゃない」
7月28日(金)〜8月18日(金)にオーストラリア語学研修が行われ、1年生15人、2年生1人の計16人が参加し、その中の堀ユキさん(1D)・日高優希美さん(1J)・栗城莉帆さん(2I)に研修の様子や感想を聞くことができた。

「2年前と同じくベスト16で止まってしまいました。先輩たちがやってくれたと信じています」と期待を寄せる。主将の小筆陸太くん(3B)は「たくさんの方に応援してもらい後輩も頑張ってくれて、後にも先にもなかなかいい試合ができたので、最高の経験になりました」と語った。(詳細は236号参照)



いざオーストラリアの海へ

今年度の錦城祭では初めてがベトナムの方だったという堀さんは「オーストラリアは色々な国の人がいて、どれも楽しいです。自分から話しかける積極性が身についたと思います」と話す。栗城さん「参考になるような展示をつくり、興味があるなら行った方は有意義だ。」(仄)

文化部！

吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールで8月12日(土)にA編成、15日(火)にB編成で演奏を披露した。55人を演奏したA編成で銀賞を、1年生で編成されているB編成で銅賞を受賞した。部長の飯島ゆいさん(2C)は、代替わりして間もなく、部員をまとめるのが大変だったと



心が癒やされる弦楽器の演奏

むらさき草

夏休み、和歌山で今年93歳になった曾祖父と戦争の話をした。曾祖父は以前から家族が集まる戦争の話をしてきたのだが、今回初めて向き合ってきた。話をしていくうちに、曾祖父の言葉が胸に刺さった。この夏に胸に刺さったもうひとつの言葉。それは全国大会で宮城県七ヶ浜町の復興見学へ行ったとき、町で偶然出会った人の「どうして今さら来たの？」

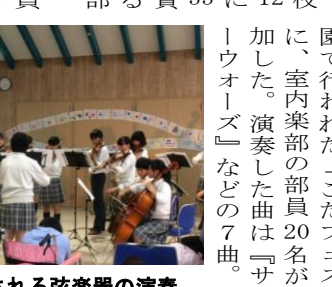


全国から集まった高校生と紙面を作る

7月25日(火)から27日(木)に第64回NHK全国高校放送コンテストが開催された。映画研究部は創作テレビドラマ部門準決勝に進出し、制作奨励賞を受賞した。撮影・編集に携わった福田涼葉さん(3J)と牧田七美さん(3J)に話を聞いた。

今年度の門は「森」
錦城祭に向けて夏休み中も活動していた門飾係。門飾は錦城祭実行委員会の門飾係と美術部とが協力して活動して

「楽しんでできた」と飯島さん
最後に「今回、『森』というテーマで描いた皆さんの動物は、錦城生の個性豊かなところを表している。一目でも見てくれると嬉しいです」と呼びかけた。(湊・蘭・橙・泰)



心が癒やされる弦楽器の演奏

機会に感謝を伝えるようにしたい」と締めくくった。

錦城祭、準備着々と進行中

順調に準備進む

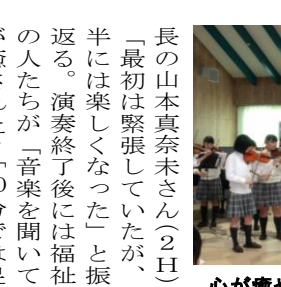
錦城祭実行委員長の野村愛未さん(2G)によると、今年度は計画を早めに決めていたこともあり、8月19日時点でパレットはほとんど完成している。今年から新たに決めた係ごとのリーダーを中心にそれぞれ活動していたそう。ただ、パレット表紙の絵

準備を着々と進行中
誰が描いたのか分からない。さらに錦城祭本部もペンが「せつなくきれいに仕上げてくれるのでより盛り上がりそうです。」と語った。知りたかったら、ぜひお話を聞きたいです。

後夜祭実行委員長の菅原彩乃さん(2E)に現状を聞くと、後夜祭ではカラオケ大会をする準備を進めており、「出場者が所属する部活の人たちも後夜祭に来てくれると思

今年度の門は「森」
錦城祭に向けて夏休み中も活動していた門飾係。門飾は錦城祭実行委員会の門飾係と美術部とが協力して活動して

「楽しんでできた」と飯島さん
最後に「今回、『森』というテーマで描いた皆さんの動物は、錦城生の個性豊かなところを表している。一目でも見てくれると嬉しいです」と呼びかけた。(湊・蘭・橙・泰)



心が癒やされる弦楽器の演奏

「楽しんでできた」と飯島さん
最後に「今回、『森』というテーマで描いた皆さんの動物は、錦城生の個性豊かなところを表している。一目でも見てくれると嬉しいです」と呼びかけた。(湊・蘭・橙・泰)

後夜祭実行委員長の菅原彩乃さん(2E)に現状を聞くと、後夜祭ではカラオケ大会をする準備を進めており、「出場者が所属する部活の人たちも後夜祭に来てくれると思



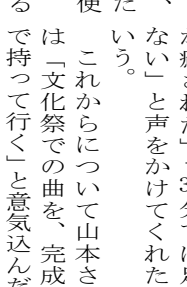
「多くの人に参加してほしい」と菅原さん

本番に向けて菅原さんは「失敗することなく、助け合っ



木を切り門のパーツを作る

最後に「今回、『森』というテーマで描いた皆さんの動物は、錦城生の個性豊かなところを表している。一目でも見てくれると嬉しいです」と呼びかけた。(湊・蘭・橙・泰)



心が癒やされる弦楽器の演奏

「楽しんでできた」と飯島さん
最後に「今回、『森』というテーマで描いた皆さんの動物は、錦城生の個性豊かなところを表している。一目でも見てくれると嬉しいです」と呼びかけた。(湊・蘭・橙・泰)